

# ピッコロシアター文化セミナーラボ(3) Kurt・ヴァイルの音楽世界 ~「三文オペラ」の仕掛け~

様々な切り口、ユニークな方法で舞台芸術の魅力を深掘りする〈ピッコロシアター文化セミナーラボ〉。第3回は、ピッコロ劇団公演『三文オペラ』の上演(2023.2/17~19 兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール)にさきがけて、音楽を手掛けた Kurt・ヴァイルにスポットを当て、音楽世界を探ります。



講師 大田美佐子 (神戸大学大学院人間発達環境学研究科准教授)

現在、神戸大学大学院人間発達環境学研究科准教授。専門は音楽文化史・音楽美学。東京藝術大学音楽学部楽理科卒業。学習院大学大学院人文科学研究科ドイツ文学専攻博士前期課程修了。ウィーン大学大学院人文科学研究科博士課程修了。ハーバード大学音楽学部客員研究員など。著書に、『Kurt・ヴァイルの世界—実験的オペラからミュージカルへ』(岩波書店、2022)、『世界音楽の本』(共著、岩波書店、2007年)、『プレヒトと日本の作曲家たち—林光と萩京子のプレヒト・ソング』(『プレヒト詩とソング』市川明編所収、花伝社、2008年)、『US Concert Music and Cultural Reorientation during the Occupation of Japan』(Carol J. Oja との共著、Sounding Together 所収、University of Michigan Press、2021)など。舞台、音楽評論の分野でも活動。ミュージック・ベンクラブ・ジャパン会員。



松本 修 (MODE主宰/「三文オペラ」台本・演出)

演出家。1955年、札幌市生まれ。劇団文学座の俳優を経て、1989年に演劇集団MODEを設立。チェーホフ、ベケット、ワイルター等の海外戯曲を独自のワークショップで再読、再構成する。2000年代はカフカの小説を多数舞台化。MODEは2016年より活動休止していたが、2020年「魚の祭」で再始動した。読売演劇賞優秀演出家賞、同優秀作品賞、千田是也賞、紀伊國屋演劇賞個人賞などを受賞。2022年3月まで近畿大学文芸学部芸術学科教授。2023年2月、ピッコロ劇団第75回公演 ピッコロシアタープロデュース『三文オペラ』の台本と演出を手掛ける。

台詞とソング(劇中歌)で語られる『三文オペラ』。その音楽は、初演から大ヒット、現在も世界中で愛好されています。中でも、ジャズのスタンダードナンバーとして知られる「マック・ザ・ナイフ」は、広く親しまれたメロディでありながら、このお芝居の曲だと知らない人も、実は多いかもしれません。今回は、音楽学がご専門で Kurt・ヴァイルの研究者である大田美佐子さんを講師に迎え、人々を魅了してやまない Kurt・ヴァイルの音楽の魅力に迫ります。

2023年 1月21日(土) 10:00~11:30 \*アーカイブ配信あり

〈プログラム〉①レクチャー：大田美佐子 ②トークセッション：大田美佐子・松本 修

会場：ピッコロシアター 小ホール

入場  
無料

(要申込:先着50名)



## 申込方法

- ピッコロシアター事務局
- 電話予約:06-6426-1940
- ピッコロシアターHP  
申し込みフォームはコチラ➡



ピッコロシアター

〒661-0012 兵庫県尼崎市南塚口町3-17-8  
Tel : 06-6426-1940 Fax : 06-6426-1943

＜お客様へのお願い＞ 〇来場される際は、マスク着用、手指消毒、検温などにご協力ください。〇37.5度以上の発熱がある方やマスク着用のない方は、ご入場をお断りする場合があります。〇発熱や風邪の症状のある方や体調がすぐれない方は、来場をお控え下さい。〇感染状況の変化により、急遽、中止や内容を変更する場合がありますので、ご了承ください。

兵庫県立ピッコロ劇団第75回公演  
ピッコロシアタープロデュース  
『三文オペラ』

作：プレヒト(谷川道子訳 光文社)  
台本・演出：松本 修 (MODE)

2023年2月17日(金)~19日(日)  
兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール